



# 木曽林務課だより 11月

秋が進んで、森の中が見通せる季節は、狩猟の時期であるとともに、間伐や枝打ちなどの山作業の適期でもあります。狩猟と重なる時期に山に作業で入られる方に気をつけていただきたいことをお知らせします。

## 狩猟が始まります。山に入る際は明るい目立つ服装で

11月15日から2月15日（ワナ猟は3月15日まで）まで狩猟が行われます。長野県内の森林は、鳥獣保護区、休猟区などを除くとほとんどが猟が可能な場所になります。狩猟者の方は、十分に気をつけて狩猟されていますが、毎年国内のどこかで事故が発生しています。

### 明るい目立つ服装で入山、入林を。

狩猟獣の茶褐色から暗褐色のイノシシ、シカや真っ黒なツキノワグマは、スギ、ヒノキなどの常緑針葉樹林や落葉が積もった森では、景色に溶け込んで人から見つけにくくなります。同様に**褐色、黒色、カーキ、ミリタリーの迷彩柄の服装の人は、こうした動物に間違われやすいとともに、林内の風景に溶け込んで人が存在することが分かりにくくなり、とても危険です。**

そのため、森林作業などで入林される際には、できるだけ上着や帽子は、蛍光系のイエロー、オレンジ、ピンク、ブルーなどの自然にない目立つ色の服装を身に付けてください。（写真）



写真 色の違い(黄色と黒色)による見えやすさの違いと目立つ色の服装例

### ワナには近づかないで。

ワナ猟では、シカ、イノシシなどを捕獲するため、外見上わからないようにワイヤー式のくくりわなを設置します。そのため、設置場所には、ワナの設置を示すプラスチック製の標識票（下図）が掲示されています。事故防止のために、ワナ等の標識票を見つけたら近づかないようにお願いします。

登録番号		登録年度	年度
氏名	登録狩猟		
住所			
登録	登録	知事	

図 狩猟用のワナ標識票  
長さ23.4cm、幅6.3cm

### 里にクマ等を近づけないよう行動しましょう。

クマ、サル等の動物が人の食べ物を覚えると、集落に近づいてくる原因になります。**弁当の食べ残しやジュースの空き缶などは、かならず家に持ち帰りましょう。**